安全、環境、および
規制情報

SoftBank 101DL

安全、環境、および 規制情報

製品の使用法、本機、および技術の詳細については、印刷資料、本機に関する情報、および support.dell.com/international を参照してください。

メモと警告

メモ：本機を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

この文書の情報は予告なく変更されることがあります。

このテキストで使用されている商標は次の通りです。Dell™ および DELL ロゴは Dell Inc.の商標です。

商標、商標名、または製品の権利を主張する事業体を表すため、その他の商標および社名が使用される場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2012 - 01　　P/N R9HR2　　Rev. A00

本機のご使用前に

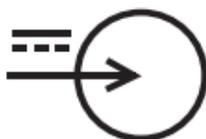
怪我や事故を避けるため、本機を使用する前に、安全および操作に関する指示をすべてお読みください。詳細な操作説明と最新の**ユーザーズマニュアル**については、**support.dell.com/manuals** を参照してください。より詳しい規制情報、EMC、安全のベストプラクティスについての情報は、適合規格ホームページ（Regulatory Compliance Homepage）（**www.dell.com/regulatory_compliance**）を参照してください。

本体の法令順守の情報にアクセスするには、 **→端末情報→認証情報**の順にタッチします。

格付け記号

Dell 製品の格付けラベルに以下のような記号が記載されています。

入力

AC 入力

DC 入力

出力

AC 出力

DC 出力

製品安全

注意散漫 — 運転中

運転中は本機を使用されないようお勧めします（ハンズフリーキットも同様）。注意散漫になり、事故発生の原因になる可能性があります。運転中は無線デバイスの使用を制限する当該地域の法律および規制を遵守する必要があります。

幼児の窒息の危険

⚠ **警告：本機を破損したり、分解すると、小さな部品によって幼児が窒息する危険性があります。**

幼児の手が届く範囲内に本機とアクセサリーを置かないでください。また、幼児を本機とアクセサリーで遊ばせないでください。

眼精疲労、発作、または失神

一部のゲームやビデオは、ライトが点滅、またはパターン点灯するよう設計されています。点滅、またはパターン点灯するライトで失神したり、発作を起こした経験がある場合は、本機でゲームをしたり、ビデオを見る前に医師に相談することをお勧めします。

眼精疲労を防止するため、長時間、画面を見ることは避けてください。

反復性ストレス

反復性ストレス損傷 (RSI) の危険を抑えるため、本機で携帯メールを入力、またはゲームをプレイする場合は、以下に注意してください。

- 本機を強く握らない
- ボタンは軽く押す
- 休憩を取り、ストレッチをしてリラックスする

ノイズ

警告：本機の出すノイズによって、聴覚が永久的に損傷される場合があります。音量を安全なレベルに設定してください。

電気的安全性

本機には Dell が承認する電源アダプター、アクセサリー、バッテリーパックのみを使用してください。本機や充電器は、充電中に過熱する可能性があります。充電中は本機を必ず適切に換気してください。

AC アダプターにのみ機能接地を提供するモデルの場合、AC アダプターにこの記号が記載されています。

機能接地（アース）

欠陥のある製品および破損した製品

破損した本機、充電器、またはアクセサリーを使用しないでください。

本機またはアクセサリーを分解しようとしないでください。資格を持った担当者のみが本機またはアクセサリーのサービス提供、または修理を行うようにしてください。

ペースメーカー

警告：ペースメーカーとの干渉を防ぐため、本機とペースメーカーとの間に少なくとも 15 ～ 20 cm の距離を保つようお勧めします。本機は必ずペースメーカーの反対側で使用し、胸ポケットには絶対に入れないでください。

病院

病院、クリニック、医療施設で要求された場合は本機のスイッチを切ってください。こういった要求は、影響を受けやすい感度の高い医療装置への干渉の可能性を回避するためです。

爆発性雰囲気、ガソリンスタンドおよび爆発性大気

爆発性大気が存在する可能性のある場所では、すべての掲示に従って、本機その他の無線装置のような無線デバイスをオフにしてください。

製品取り扱い

取り扱いと使用法についての一般的な指示

- 携帯電話その他の無線装置の使用が禁止されている場合はどこでも必ず本機のスイッチを切る必要があります。
- 本機とアクセサリーは、必ず注意深く取り扱い、清潔でほこりのない場所に置いてください。
- 電子製品の処分についての地域の規制を調べてください。
- 本機またはアクセサリーを、火気や火のついたタバコに近づけないでください。
- 本機またはアクセサリーを水気、湿気、高湿度の環境に置かないでください。
- 本機またはアクセサリーを落としたり、投げたり、曲げたりしないでください。
- 本機またはアクセサリーの清掃には、強い薬品、洗浄溶剤、またはエアロゾルを使用しないでください。
- 本機またはアクセサリーを塗装しないでください。
- 本機またはアクセサリーを分解しようとしないでください。資格を持った担当者のみが本機またはアクセサリーのサービス提供、または修理を行うようにしてください。
- 本機またはアクセサリを極端な温度にさらさないでください。推奨する動作温度は最低：–10°Cで最高：+55°C です。

- 本機を後ろポケットに入れないでください。座ったときに壊れる可能性があります。
- 本機は引火または爆発しやすい環境では使用できません。
- 激しい稲妻や雷をともなう嵐、または長期間不在にする場合は、コンセントからACアダプタを抜いてください。

消磁

消磁の危険を避けるため、電子デバイスまたは磁気媒体を長時間本機の近くに置かないでください。

環境

環境への配慮 — リサイクルに関する情報

Dell では、使用済みのコンピューターハードウェア、モニター、プリンター、その他の周辺装置を環境的に健全な方法で処分することを推奨しています。部品または製品全体の再利用、および製品、コンポーネント、または素材（またはこれらの組み合わせ) のリサイクルはその一例です。

Dell の世界的なリサイクリングプログラムの詳細情報については、**www.dell.com/recyclingworldwide**を参照してください。

ワイヤレス

無線周波数への露出

本機には発信器と受信器が入っています。その場合、発信器や受信器は無線周波数 (RF) エネルギーを送受信します。本機で通信するとき、接続を処理しているシステムは、その本機が発信する電力レベルを制御します。

比吸収率 (SAR、Specific Absorption Rate)

本機は、国際的指針で推奨されている無線波への露出の限界を超えないよう設計してあります。これらの指針は、独立の科学組織 ICNIRP が作成したものであり、年齢および健康に無関係にすべての人を確実に保護をするよう策定した安全限度が含まれています。

これらの指針は、比吸収率 (SAR、Specific Absorption Rate) として知られる測定単位を使用しています。本機の ICNIRP SAR 限界は、組織の 10 g 当たり 2 W/kg です。本機の FCC SAR 限界は、組織の 1 g 当たり 1.6 W/kg です。

SAR は本機の最高発信電力を使用して測定するので、動作中のこの本機の実際の SAR は前に指定した限界未満であるのが普通です。これは、ネットワークと通信するのに必要な最小電力のみを使用するようにする、本機の電力レベル自動変更のためです。

本機に関するSAR 値については、**本書**を参照してください。

無線周波数フィールドへの露出の制限

RF フィールドへの露出の制限に関心のある人のために、WHO（世界保健機関）は以下の助言を行っています。

予防措置 — 現在の科学情報は本機の使用法について特別な予防の必要を示していません。関心のある方は、接続の長さを制限して自分または子供の RF 露出を制限するか、または「ハンズフリー」機器を使用して本機を頭と体から離しておくことをことを選択してください。

この問題の詳細については、WHO のホームページ **www.who.int/peh-emf** (WHO Fact sheet 193: June 2000) をご覧ください。

緊急時の通信

無線信号が弱い、あるいは利用できない状況では、緊急時の通信用に本機が利用できなくなる可能性があります。

輸出規制

お客さまはこれらの製品（技術とソフトウェアを含むことがある）が米国 (U.S) の慣習および輸出管理の法律および法規制に従い、製品が製造または受領、またはその両方された国の慣習および輸出管理の法律および法規制に従うことに同意します。お客さまはこれらの法律および規制を遵守することに同意します。さらに、米国の法律では、製品は禁止されたエンドユーザーまたは禁止された国に、販売、リース、転送できません。さらに、製品は、制限なしに、核兵器、材料、ミサイル、またはミサイル プロジェクトの支援、および化学兵器または生物兵器の支援または設備の設計、開発、製造、または使用に関連する活動を含む大量破壊兵器に関連する活動に携わるエンドユーザーによる販売、リース、または転送は禁止されています。

各国に固有の安全、規制、および環境情報の追加

バッテリーステートメント（日本）

不要になったバッテリーの処理については、貴重な資源を守るために廃棄せずに、デル担当窓口：デルPCリサイクルデスク（個人のお客様：電話 044-556-4298、企業のお客様：電話 044-556-3481）へお問い合わせください。

お願いとご注意 SoftBank 101DL

お買い上げ品の確認

- 携帯電話無線機（本機には、電池パックが内蔵されています。）
- ACアダプタ (DLCAB1)
- クイックスタート
- 安全、環境、および規制情報（本書）
- メンテナンスとサポート情報
- 保証書（本体、ACアダプタ）
- 8GB MicroSD Card（本体内蔵）
- マイクロフォン付きステレオヘッドセット（試供品）

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示	説明
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。
※1 重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。	
※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。	
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。	

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIMカード、ACアダプタ、USBケーブル、マイクロフォン付きステレオヘッドセット、SDカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険	
指示	**本機に使用する電池パック・ACアダプタ・USBケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。** 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。
分解禁止	**分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。** 火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。
水濡れ禁止	**濡らさないでください。** 水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
禁止	**高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。** 機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止	**本機に ACアダプタ・USBケーブル・マイクロフォン付きステレオヘッドセットを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。**
	電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
⚠ **警告**	
禁止	**本機・ACアダプタ・USBケーブル・マイクロフォン付きステレオヘッドセットを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。**
	電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタ・USBケーブル・マイクロフォン付きステレオヘッドセットの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。
指示	**プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。**
	ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
禁止	**落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。**
	電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

指示	**使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。** 1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。 2. 本機の電源を切ってください。 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
禁止	**イヤホン端子や外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。** ショートによる火災や故障などの原因となります。
⚠ 注意	
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。** 落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーター設定中や充電中は、特にご注意ください。
指示	**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。** 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
指示	**子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。** 使用中においても指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠ 警告	
禁止	**自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。** 交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。
指示	**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。** 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植え込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など。
指示	**本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。** 機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
指示	**心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。** 心臓に影響を与える恐れがあります。

指示	**屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。** 落雷や感電の原因となります。
禁止	**ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。** 視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
注意	
禁止	**車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。** 本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
指示	**本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。** 本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。
禁止	**本機に磁気カードなどを近づけないでください。** キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示	**本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。** 長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
禁止	**着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。** 難聴になる可能性があります。
指示	**イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。** 長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

USIM カード、SDカードの取り扱いについて

⚠ 注意	
禁止	**SDカードスロットにSDカード以外のものを入れないでください。** 発熱・感電・故障の原因となります。
禁止	**SDカードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、SDカードを取り出したり、本機の電源を切らないでください。** データ消失・故障の原因となります。

禁止	**SDカードは対応品以外のものを使用しないでください。** データ消失・故障の原因となります。記憶容量が32GバイトまでのSDカードに対応しています。
禁止	**USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。** 故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。
禁止	**USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。** 指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

AC アダプタ、USBケーブルの取り扱いについて

⚠ 注意	
禁止	**充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。** 熱がこもって火災や故障などの原因となります。
禁止	**指定以外の電源・電圧で使用しないでください。** 指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。 ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）。 **また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。** 火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜く	**長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。** 感電・火災・故障の原因となります。
電源プラグを抜く	**万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。** 感電・発煙・火災の原因となります。
指示	**プラグにほこりがついたときは、AC アダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。** 火災の原因となります。
指示	**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや USBケーブルの端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。** 感電・ショート・火災などの原因となります。
濡れ手禁止	**濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。** 感電や故障などの原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。** 感電などの原因となります。

⚠ 注意	
電源プラグを抜く	**お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。** 感電などの原因となります。
指示	**ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。** コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。
禁止	**ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。** けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成13年3 月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠ 警告	
指示	**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm 以上離して携行および使用してください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示	**自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。** 電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。
指示	**医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。** • 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。 • 病棟内では、本機の電源を切ってください。 • ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。 • 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
指示	**満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。** 電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 本機では、Google Inc.が提供する「Android マーケットTM」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客さまご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルス等）につきまして、当社は一切の保証を致しかねます。
- 本機で画面ロック解除用の暗証番号を設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
    - 本製品を分解/改造すること

- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
    - 産業・科学・医療用機器
    - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    - 構内無線局（免許を要する無線局）
- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

3. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
4. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
5. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4 GHz
変調方式	DS-SS 方式/OFDM 方式
想定干渉距離	40 m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

ストリーミングについて

ストリーミングご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生します。

SSL/TLS について

SSL(Secure Sockets Layer)とTLS(Transport Layer Security) とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL/TLS 接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信でき、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。

SSL/TLS 利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLS を利用するものとします。お客様自身によるSSL/TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社はサイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL/TLS の安全性に関して何ら保証を行うものではありません。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機・ACアダプタ・USBケーブル・マイクロフォン付きステレオヘッドセットなどは防水仕様ではありません。
- 本機がフリーズなどした場合は、電源キーと音量小キーを約15秒長押しして、本機をリセットしてください。

緊急地震速報について

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。

- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）が必要になります。

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）はお忘れにならないよう、また、他人に知られないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。
- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。
- 以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。

PINコードについて

PINコードは第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。PINコードを有効にしている場合は、電源を入れたときにPINコードを入力しないと本機を使用することができません。

- PINコードは変更できます。
- お買い上げ時、PINコードは「9999」に設定されています。
- PINコードの入力を3回間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード（PUKコード）が必要となります。PINロック解除コードについては、お問い合わせ先までご連絡ください。PUKコードを10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクショップにてUSIMカードの再発行（有償）が必要になります。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種101DLの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR：SpecificAbsorption Rate) について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。この携帯電話機101DLのSAR は0.585 W/kg (10g) です。この値は、国が定

めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14 条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSAR ポリシー」について

当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

- * ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率 (SAR) のことです。
- ** 比吸収率 (SA)：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

*** 身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCC で定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCC が定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は1.28 W/kg (1g) です。

身体装着の場合：携帯電話機101DLでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA)のホームページ http://www.ctia.org（英文のみ）。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機101DLは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR 許容値は2W/kg で身体に装着した場合のSAR の最高値は0.584 W/kg (10g)* です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。(http://www.who.int/emf)（英文のみ）

＊ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

ソフトウェア更新のトラブルシューティング

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新中は、ほかの機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は絶対にUSIMカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先までご連絡ください。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

- 電源キーと音量小キーを約15秒長押しして、本機を再起動してください。それでも起動しないときは、ご契約事業者のお問い合わせ先にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証について

101DL本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？」と思ったら取扱説明書をお読みの上、もう一度お確かめください。

それでも異常がある場合はご契約いただいた各地域の故障受付、または最寄のソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

■ ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内	紛失・故障受付
ソフトバンク携帯電話から157（無料）	ソフトバンク携帯電話から113（無料）
一般電話から 0800-919-0157（無料）	一般電話から 0800-919-0113（無料）

■ IP電話などでフリーコールがつながらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022ー380 ー4380（有料）	東海地域	052ー 388ー2002（有料）
関西地域	06ー7669ー0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092 ー 687ー0010（有料）

■ スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151（無料）	一般電話から 0800-1700-151（無料）

■ ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については下記の番号へおかけください。

＋81ー3ー5351ー3491（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

商標について

- 「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。
- Bluetooth®は米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
  Bluetooth®
- FlashはAdobe Systems Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google およびGoogle ロゴ、Android、Android マーケットおよびAndroidマーケットロゴ、Gmail、Picasa、YouTube、Googleマップ、GoogleLatitude、Google音声検索、Googleカレンダー、Googleバズ、Google トーク、Google Checkoutは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- S!メール、デコレメール、楽デコはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

2012 年1月　第1版発行

機種名：SoftBank 101DL

製造元：Dell.inc.